

小学校

「総合的な学習の時間」全体計画

【 総合的な学習の時間の目標 】

身近な自然や地域の北海道遺産についての探究的な学習を通して、自分で課題を見つけ、課題解決を図る方法を身に付け、仲間と協力して問題を解決するとともに、よりよい生活を創り出そうとする。

【 育てようとする資質や能力及び態度 】

①学習方法に関すること

3・4年	自分の興味・関心に基づき、課題を設定し、課題解決に向けて努力する。
5・6年	自分の興味・関心に基づき、課題を設定し、主体的に課題を解決する。

②自分自身に関すること

3・4年	課題に対し、自分なりの考えをもって解決に当たる。
5・6年	内面を見つめ、「自分はこれからどうしたいか」を考える。

③他者や社会とのかかわりに関すること

3・4年	探究・調査のため、必要に応じて各地に出向いて実地調査をすることができる。
5・6年	探究・調査のため、必要に応じて各地に出向いて実地調査したり、インターネット等を使って幅広く情報を収集したりすることができる。

【 学習内容 】

学習対象・学習事項	
3年	身近な自然環境を対象に、地域の自然のよさや大切さについて学ぶ。
4年	地域の産業とそれを守る人々を対象に、地域の生活のよさや大切さについて学ぶ。
5年	地域の自然環境とそれを守る人々の取組を対象に、地域の自然のよさや大切さについて学ぶ。
6年	地域の産業や商業にたずさわる人々を対象に、地域の産業・商業のようすや働くことの意義について学ぶ。

【 学習活動 】

3年	自然環境に直接触れる。
4年	施設や人材を活用し、炭坑について調べる。
5年	地域の自然や人材との交流を通して、地域の自然について調べる。
6年	施設や人材との交流を通して炭坑や当時の生活について調べる。

【 指導方法 】

3年	・教科との関連を図った指導の充実 ・体験活動の充実
4年	・五感を使った体験活動の充実
5年	・協同的な学習活動の充実
6年	・児童の課題意識を連続・発展させる指導の工夫

【 学習の評価 】

3年	・個人内評価の重視
4年	・個人内評価の充実
5年	・指導と評価の一体化の重視
6年	・指導と評価の一体化の充実

【 指導体制 】

3年	・地域教育力の効果的な活用
4年	・地域教育力の効果的な活用
5年	・地域教育力の効果的な活用
6年	・地域教育力の効果的な活用

【 地域との連携 】

- ・歌志内郷土資料館の活用
- ・高齢者等、地域人材への取材

【 小・中の連携 】

- ・小・中学校の教員による指導計画及び効果的な指導方法についての交流

【 各教科等との関連 】

- ・社会科
- ・理科
- ・特別活動

中学校

「総合的な学習の時間」全体計画

【総合的な学習の時間の目標】

- (1) 自分の住む歌志内について様々な視点から理解を深める。
- (2) 自分の調査テーマに沿って、調査、まとめ、発表の力を身に付ける。
- (3) 学習を通じて地域の人々や家族とのかかわりを積極的にもち、人とのかかわり方を学ぶ。

【育てようとする資質や能力及び態度】

①学習方法に関すること

1年	目的に応じて情報を収集する
2年	適切に課題を設定する
3年	目的に応じて、論理的に表現する

②自分自身に関すること

1年	目的を明確にして、計画を立てる
2年	生活を見直し、日常実践に生かす
3年	将来への夢と希望をもつ

③他者や社会とのかかわりに関すること

1年	他者の考えを受容し、尊重する
2年	相互に理解し合い、協同的に解決する
3年	環境保全についての考えをもち、意識を高める

【学習内容】

学習対象・学習事項	
1年	地域の炭鉱やそれにとざさわってきた人々を対象に、地域の産業や生活とのかかわりについて学ぶ。
2年	地域の炭鉱やそれにとざさわってきた人々を対象に、地域の産業や町づくりのかかわりについて学ぶ。
3年	地域の炭鉱やそれにとざさわってきた人々を対象に、地域の将来や働くことの意義について学ぶ。

【学習活動】

1年	「石炭」にかかわる課題を設定し、地域の産業や生活を調べる。
2年	「石炭」を切り口として、歌志内の町づくりについて調べる。
3年	「石炭」を切り口として町づくりと自分の生き方についての考えを表現する。

【指導方法】

1年	・個に応じた指導の工夫
2年	・協同的な学習の充実
3年	・生徒の課題意識を連続させる支援

【学習の評価】

1年	・自己評価・相互評価の設定
2年	・自己評価・相互評価の設定 ・指導と評価の一体化の充実
3年	・個々の総括的学習成果に基づいた評価

【指導体制】

1年	・チーム・ティーチングの工夫 ・地域の人材の活用
2年	・チーム・ティーチングの工夫 ・地域の人材の活用
3年	・チーム・ティーチングの工夫 ・担任外の教職員の支援

【地域との連携】

- ・歌志内郷土資料館の活用
- ・旧炭鉱や地域住民への取材

【小・中の連携】

- ・小・中学校の教員による指導計画及び効果的な指導方法についての交流

【各教科等との関連】

- ・社会科
- ・理科
- ・技術・家庭科（技術分野）
- ・特別活動

小学校

第4学年 「総合的な学習の時間」 単元指導計画

単元名	「みつめよう ぼくたち・わたしたちのまち」	時数	5時間
単元の目標	○ 炭鉱があった頃の歌志内の様子を調べることにより、歌志内という地域を深く知るとともに、地域の産業を理解し、そこに暮らす人々の思いや願いに気付くことができる。		
地域、児童生徒の実態	○ 社会科や総合的な学習の時間において、調べ学習に興味をもって取り組む児童が多い。 ○ 30年前の炭鉱全盛時代の生活の様子等を知らない児童が多い。		
育てようとする資質や能力及び態度	1 学習方法に関すること	2 自分自身に関すること	3 他者や社会とのかかわりに関すること
	①自分の興味・関心に基づいた課題を設定し、課題の解決に向けて努力する。	①課題に対し、自分なりの考えをもって解決に当たる。	①探究・調査のため、必要に応じて各地に出向いて実地調査をすることができる。
前学年との関連について	○ 総合的な学習の時間において、学校周辺の自然や公共施設、街の様子を調査を通して、身近な地域についての興味や関心を高めてきた。		
教材について	○ 地域の文化遺産である「石炭」にかかわる施設や人材は、児童が自分の住む歌志内の歴史や、当時の人々の生活などを理解したり、興味・関心を高めながら意欲的に課題を追究したりすることができる教材である。		
地域の人材について	○ 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」学芸員		
地域の施設について	○ 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」		
学習過程(時間)	● 主な学習内容		<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
1	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」を訪問する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員から石炭の話を聞く。 ・学芸員から当時の生活の様子を聞く。 ・石炭に触れる。 ・石炭ストーブの暖かさを体験する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・昔はたくさんの人が炭鉱で働いていたんだ。 ・炭鉱があったころ、歌志内には、たくさんの人が住んでいて、お店もいっぱいあったんだ。 ・石炭って固くて重たいんだ。石炭を運ぶのは大変だったんだろう。 ・石炭ストーブは暖かいんだね。 </div>		<input type="checkbox"/> 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」 <input type="checkbox"/> 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」学芸員 <input type="checkbox"/> 炭鉱やその当時のくらしに興味・関心をもっている。(1-①)

学習過程 (時間)	● 主な学習内容	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="radio"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
2	<p>● 歌志内郷土資料館の見学を通して気付いたことを発表し、交流する。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 炭鉱では、どのようにして石炭を掘っていたのかな。 石炭を掘っていたころ、どのような生活をしていたのかな。 <p>-----</p> <p>● 詳しく調べたいことを学習課題として設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>石炭を掘っていた頃の歌志内市の生活の様子を調べよう。</p> </div> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 10px 0;">情報の収集</p> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 10px 0;">整理・分析</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 体験活動を対比して課題を設定する。</p> <p><input type="checkbox"/> 自分の興味・関心に基づいた課題を設定している。(1-①)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 同じ課題を選択した児童でグループをつくり、協力して課題を解決するよう配慮する。</p> <p><input type="radio"/> 郷土資料館の活用 <input type="radio"/> 郷土資料館の学芸員 <input type="radio"/> 家族や地域の人</p>
3	<p>● グループで協力しながら、課題の解決を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土資料館「ゆめつむぎ」を訪問して調べる。 インターネットを活用して調べる。 家族や地域の人に話を聞いて調べる。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 炭鉱では働く人は、1日3交代で働いていたんだね。 炭鉱で働く人は、同じ団地に住んでいたんだね。 たくさんの人が住んでいて、お祭りにもぎやかだったんだね。 炭鉱で働く人の家族は、仲良く助け合って暮らしていたんだね。 ナンコの味は、家によって違っていったんだね。 <p>-----</p> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 10px 0;">まとめ・表現</p>	<p><input type="checkbox"/> 探究・調査のため、必要な情報を収集して解決を図ろうとしている。(3-①)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 郷土資料館などで情報を収集する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 友だちに分かりやすく伝えることができるよう、まとめ方を工夫することを指導する。</p>
4～5	<p>● 調べたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 模造紙にまとめる。 紙芝居で表す。 絵本で表す。 <p>● まとめたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 模造紙や紙芝居など、まとめたものを活用して発表する。 発表した内容について質問し、理解を深める。 <p>● 学習のまとめをする。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌志内は炭鉱があったころ、多くの人でにぎわっていたんだね。 石炭は、黒いダイヤと呼ばれた貴重品で、私たちの町では、それを掘っていたんだね。 炭鉱で働いていた人と家族が今の歌志内の歴史をつくってくれたんだ。 <p>-----</p>	<p><input type="checkbox"/> 自分の考えをもって課題解決に取り組んでいる。(2-①)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 紙芝居や絵本でまとめ・表現する。</p> <p><input type="checkbox"/> 炭鉱で栄えたころの歌志内の様子を知り、郷土に対する誇りと愛着をもっている。(2-①)</p>

中学校

第1学年 「総合的な学習の時間」単元指導計画

単元名	石炭と炭鉱の街 歌志内を探る I		時数	5時間
単元の目標	○ 「石炭」というテーマに基づいた調査活動を通して、課題の解決に必要な情報を収集し、計画的に課題を解決する力を育てるとともに、自分の住む歌志内について様々な視点から理解を深めることができる。			
地域、児童生徒の実態	○ 素直で、行動力に富み、集団行動にも順応性があり、基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多い。 ○ 学習面でやや受け身の傾向が見られる。			
育てようとする資質や能力及び態度	1 学習方法に関すること	2 自分自身に関すること	3 他者や社会とのかかわりに関すること	
	①目的に応じて情報を収集する。	①目的を明確にして、計画を立てる。	①他者の考えを受容し、尊重する。	
前学年との関連について	○ 小学校で歌志内の自然や地域の特徴をテーマとした調査活動を実施した。 ○ 小学校での学習成果を導入として、エネルギー資源としての石炭や炭鉱で従事した人々の生活についての調査活動を行う。			
教材について	○ 地域の文化遺産である「石炭」にかかわる施設や人材は、生徒が自分の住む歌志内の歴史や、地域の発展を支えてきた人々の思いなどについて理解を深めることができる教材である。			
地域の人材について	○ 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」学芸員 ○ 元炭鉱マン ○ 地域住民			
地域の施設について	○ 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」 ○ 空知炭砦「露天掘り」			
学習過程(時間)	● 主な学習内容			□ 評価 ○ 人材、施設、資料等の活用 ■ 指導上の留意点
1	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の総合的な学習の時間で学習した地域にかかわる学習の成果を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・石炭は、黒いダイヤモンドと言われていた。 ・石炭は、昔のエネルギーとして利用されていた。 ・炭鉱では、1・2・3番方があるって交代で仕事をしていた。 ・働いている人は、同じ団地に住んでいた。 ● 中学校の総合的な学習の時間で地域について学習する「石炭と炭鉱の街 歌志内を探る I」の概要を知る。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校で学習した発表物を提示する。 ■ 社会科・理科との関連を図る。 <p>□ 石炭や炭鉱に興味をもって学芸員の話聞き、課題となりそうな話題を記録している。(1-①)</p>

北海道の文化遺産等の教育資源を活用する学習

学習過程 (時間)	● 主な学習内容	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
<p>2</p> <p>3～4</p>	<p>● 「歌志内郷土資料館」を訪問し、石炭と炭鉱について、展示資料を基に説明を聞く。</p> <p>● 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・次のA～Eの分類に沿った課題をグループ毎に設定する。</p> <p>A. 石炭とエネルギー(エネルギー資源 など)</p> <p>B. 石炭の性質(コークス、国内炭の特徴 など)</p> <p>C. 石炭の利用(石炭の利用法 など)</p> <p>D. 炭鉱の構造(石炭を掘る道具 など)</p> <p>E. 炭鉱の様子(炭鉱の中の様子、炭鉱住宅 など)</p> </div> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p>● 学習課題に沿った調査活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや図書資料を活用し、課題の解決に必要な情報を収集する。 ・キーワード検索の方法を学ぶ。 ・複数の情報を比較する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・戦争でたくさんのエネルギーが必要になった。</p> <p>・歌志内の位置する石狩炭田地帯には石炭が大量に埋まっていた。</p> <p>・炭鉱内は、道が狭く機械を入れることができなかつたため、ほとんどが手作業で仕事をしていた。</p> <p>・各炭鉱会社は、それぞれ一つずつの会館と病院をもっていた。 など</p> </div> <p style="text-align: center;">整理・分析・まとめ</p>	<p><input type="checkbox"/> 歌志内郷土資料館学芸員</p> <p><input type="checkbox"/> 石炭や炭鉱に興味をもって学芸員の話聞き、課題となりそうな話題を記録している。(1-①)</p> <p>■ 1グループを4～6人の編成とする。</p> <p>■ 各教諭は2グループ程度を担当する。</p> <p><input type="checkbox"/> 課題を設定し、解決のための方策や手立てを見通している。(2-①)</p> <p>■ PCと各種ソフトの操作スキルの向上を図るよう指導する。</p> <p>■ 技術・家庭科との関連を図る。</p> <p>■ 著作権について指導する。</p> <p>■ 聞き取りのマナーを徹底する。</p> <p><input type="checkbox"/> 目的に応じて情報を収集している。(1-①)</p> <p>○ 資料「そらち・炭鉱(ヤマ)の記憶」のHPや記録集、DVD等</p> <p>○ 歌志内郷土資料館学芸員</p>
<p>5</p>	<p>● グループ毎に調査した内容を整理し、分析した内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトを活用して学習結果をまとめる。 	<p><input type="checkbox"/> 追究した課題を解決する過程で見つけた新たな課題を明確にしている。(3-①)</p> <p>■ 技術・家庭科との関連を図る。</p>

中学校

第2学年 「総合的な学習の時間」 単元指導計画

単元名	石炭と炭鉱の街 歌志内を探るⅡ	時数	5時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「石炭」や「炭鉱」というテーマに基づく適切な課題を設定し、課題の解決に向けて主体的に調査するとともに、調査結果を協同的にまとめる力を育てる。 ○ 地域の人々や家族への取材を通して、積極的に人とかかわろうとする態度をはぐくむ。 		
地域、児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ○ 素直で、行動力に富み、集団行動にも順応性があり、基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多い。 ○ 表現力が乏しい生徒が多い。 		
育てようとする資質や能力及び態度	1 学習方法に関すること	2 自分自身に関すること	3 他者や社会とのかかわりに関すること
	①解決への見通しをもつ。	①生活を見直し、日常実践に生かす。	①相互に理解し合い、協同的に解決する。
前学年との関連について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌志内の石炭と炭鉱をテーマとした調査活動を実施した。 ○ 前学年の調査結果をもとにグループを編成し、石炭と炭鉱についてより掘り下げた学習課題を設定し、グループで協力して調査活動を行う。 		
教材について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の文化遺産である「石炭」にかかわる施設や人材は、生徒が、自分の住む歌志内の歴史や、地域の発展を支えてきた人々の思いなどについて理解を深めるとともに、主体的な追究活動を通して、思考力や表現力等をはぐくむことができる教材である。 		
地域の人材について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」学芸員 ○ 元炭鉱マン ○ 地域住民 		
地域の施設について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌志内郷土資料館「ゆめつむぎ」 ○ 空知炭砒「露天掘り」 		
学習過程(時間)	<p style="text-align: center;">● 主な学習内容</p>		<input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
1	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中学校1年の総合的な学習の時間で地域について学習する「石炭と炭鉱の街 歌志内を探るⅠ」で学習した成果を交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・石炭は主に、製鉄(鉄鋼業)と発電のために用いられていた。 *現在も砂川や奈井江の火力発電所で利用されている。 ・空知はあと500年採掘しても石炭はなくなることがわかった。*日本一の埋蔵量である。 </div> ● 中学校2年の総合的な学習の時間で地域について学習する「石炭と炭鉱の街 歌志内を探るⅡ」の概要を知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学1年で学習した発表物を提示する。 ■ 社会科・理科との関連を図る。 □ 地域の文化遺産である石炭・炭鉱についてより深く探究しようとしている。(1-①)

学習過程 (時間)	● 主な学習内容	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="radio"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
2～3	<p>● 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>歌志内市が栄えていたころの炭鉱の仕事や町の様子についてしらべよう。</p> </div> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 10px 0;">情報の収集</p> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 10px 0;">整理・分析</p> <p>● 学習課題に沿った調査活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用して、必要な情報を収集する。 ・元炭鉱マンや地域住民から聞き取る。 ・歌志内郷土資料館や空知炭砦「露天掘り」で、現地調査をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は、昭和23年の46,000人をピークに昭和36年まで4万人台だった。昭和40年代になると閉山が相次ぎ過疎化の一途を辿るようになった。 ・炭鉱の中は、真っ暗であり唯一の光は、自分のヘルメットに付いている小さな電気だけだった。 ・道具を下に落とすと火花が散るため、小さな爆発事故は度々起り、大きな爆発事故も年に1回は起きた。 ・炭鉱住宅の家賃、水道代や燃料代(石炭)などは無料だった。 </div>	<p><input checked="" type="checkbox"/> KJ法的な手法で課題を設定する。</p> <p><input type="checkbox"/> 適切な課題を設定し、解決のための見通しをもっている。(1-①)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭科との関連を図る。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インタビュー前にチェックリストで確認して情報を収集する。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の人への取材を通して、人とのかかわりをもとうとしている。(2-①)</p> <p><input type="checkbox"/> グループで協力して取材に当たり、協同的に課題解決に当たっている。(3-①)</p>
4～5	<p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 10px 0;">まとめ・表現</p> <p>● グループ毎に調査した内容を整理し、まとめ方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトを活用して学習結果をまとめる。 ・調査内容の結果を基に5部構成でまとめる。 ・グループ毎に構成を分担する。 <ul style="list-style-type: none"> 第1部 郷土資料館での発見 第2部 祖父母(地域の方)の昔話 第3部 炭住の生活 第4部 炭鉱事故と炭鉱マンの心意気 第5部 過去と未来への想い 	<p><input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーションでまとめ・表現する。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の文化遺産である石炭・炭鉱についての理解を深め、郷土への愛着と誇りをもっている。(2-①)</p>